

# 2016 年春季マザーカップディスクドッグ大会 ルール

★赤文字は 2015 年秋季からの変更・追加箇所

## 【全クラス共通ルール】

1. 出場できる犬の年齢は 生後 10 カ月以上 とする。
2. 競技で使用できるディスクは配布ディスク、もしくはマザーカップのロゴ(下記画像の2デザイン)がプリントされたディスクとする。ただしレトリブクラスでは前述のディスクの他、ボールやおもちゃ等(犬や人間に危険が無いもの)が使用できる。



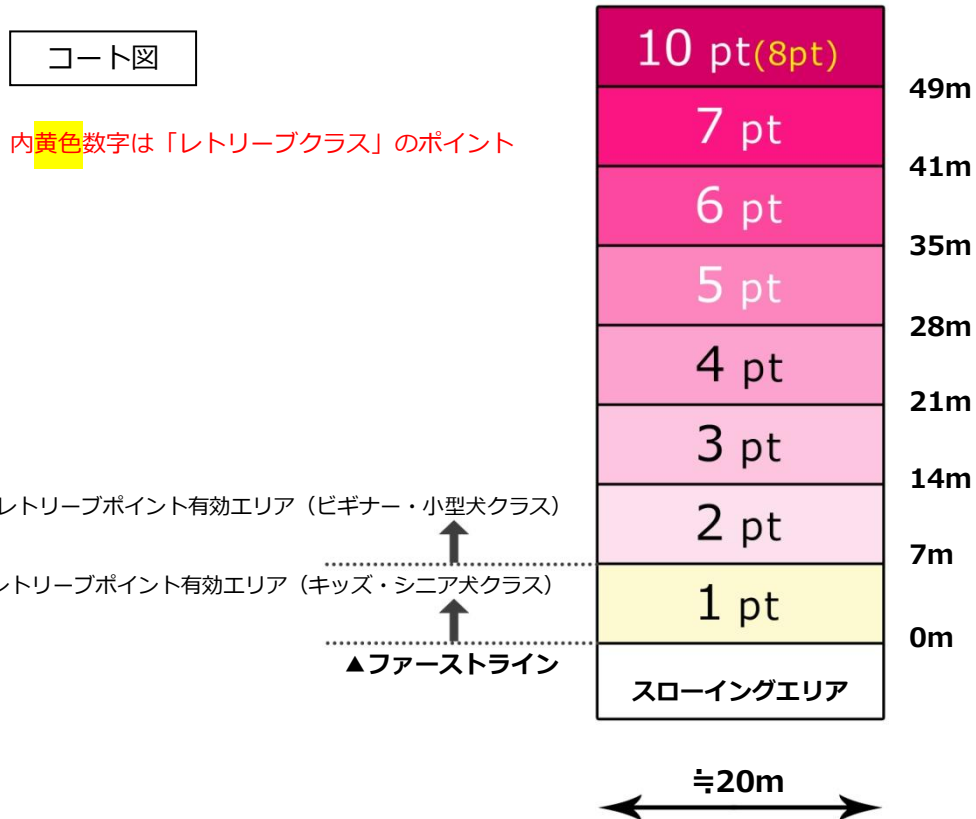
	マザーカップロゴがプリントされた ディスク	ボール・おもちゃ等
レトリブ以外の 全クラス	○	×
レトリブ	○	○

※重いディスク(SDX・HDX等)の使用に関しては、愛犬への負担を十分考慮し自己責任にて使用すること。万が一愛犬に不慮の事故などが生じても一切の責任は負いかねます。

3. 上記記載のディスク以外を使用した事が判明した場合には失格となり、表彰後であっても順位は取り消しとなる。
4. 競技者を妨害する行為は失格となる場合がある。
5. 待機中、愛犬の安全のためにも犬はケージ等に入れておく事が望ましいが、止むを得ず係留等で待機させる場合には、競技犬の視界に入ったり、競技犬に吠えかかるなどして競技の妨げにならない様にタープの奥の方に係留するなど十分配慮すること。
6. 競技中出場犬以外の犬が侵入した場合、選手の申し出やジャッジの判断で競技をやり直す事ができる。
7. 出場選手は一般ギャラリーに競技を見せる事に協力する。
8. 愛犬、他人の犬を問わず虐待があった場合、その競技を終了または失格とする。
9. 予防注射を済ませていない犬をエントリーすることはできない。
10. 競技中に糞尿行為があった場合、オープン・レディース・小型犬・ミドル・ロングディスタンスクラス・**レトリブ**およびフリースタイルでは糞尿行為の時点でそのラウンドの競技は終了となる(それまでに獲得したポイントは原則として有効)。また糞尿の処理は選手自身が速やかに行うこととする。
11. ビギナー・シニア犬・キッズクラスの競技中に糞尿行為があった場合は、競技を制限時間まで続行することを認めるが、競技終了後に糞尿の処理を選手自身が速やかに行うこととする。糞尿の匂いは後続の出場犬に影響を及ぼすため、競技に臨む前にきちんと愛犬の排泄をすませておくなど参加選手は競技中の糞尿行為を防止するよう努めることとする。
12. その他、本書の規定にないルールについてはジャッジの判断に委ね、出場選手はこれを受け入れる。

## 【ディスタンス競技】

制限時間内に出場犬がディスクやボール等を何回どの場所でキャッチできるかを競うものです。一投ごとに得点制で採点し、合計得点の多いペアが上位となります。競技者がディスクを投げた地点と、出場犬がキャッチした地点との距離が長いほうが高い得点になります。



1. 大会種目、競技時間及び種目別規定は下記のとおりとする。

### ① オープンクラス (グランドチャンピオンクラス)

- ・ 予選競技 1分×2ラウンド、上位5ペアが決勝進出。
- ・ 決勝競技 1分×1ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 出場選手が女性または小学生以下の場合は得点ごとに0.5点、小型犬の場合は1点加算のハンディキャップが与えられる。
- ・ 上位1~3位のペアは各年度の最終大会に行われるグランドチャンピオン大会に出場する権利を獲得できる。

### ② レディースクラス

- ・ 予選競技 1分×2ラウンド、上位5ペアが決勝進出。ただし参加数が10組に満たない場合には上位3ペアを決勝進出とする。
- ・ 決勝競技 1分×1ラウンド。
- ・ 犬種は問わないが出場者は女性のみ。
- ・ マザーカップのオープン、レディースクラスにおいて優勝したことが無いペアが対象となる。

### ③ ミドルクラス (中級者向け)

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 過去のマザーカップのオープンまたはレディース、および他団体で左記と同等のクラスやマザーカップのミドルクラスにおいて優勝したことが無いペア、ならびにマザーカップのミドルクラスで3位以上入賞を2回したことが無いペアが対象となる。

#### ④ ビギナー男性クラス・ビギナー女性クラス（初心者向け）

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢は問わないが、男性は『ビギナー男性クラス』女性は『ビギナー女性クラス』へ参加すること。
- ・ 過去のマザーカップのオープン、レディース、ミドル、ビギナー、旧チャレンジの各クラスや他のディスクドッグ大会において3位以上入賞をしたことが無いペアが対象となる。
- ・ レトリブポイントを適用する。（7m以上の有効スロー時）

#### ⑤ 小型犬クラス

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 出場者の年齢性別は問わないが、犬種は小型犬に限る。
- ・ レトリブポイントを適用する。（7m以上の有効スロー時）

#### ⑥ シニア犬クラス

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 出場者の年齢性別は問わないが、犬の年齢が9才以上であること。
- ・ 全ての有効スローにレトリブポイントを適用する。

#### ⑦ キッズクラス

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種は問わないが、出場者が小学生以下であること。
- ・ 全ての有効スローにレトリブポイントを適用する。

#### ⑧ ロングディスタンスクラス

- ・ 競技は1分30秒で、スローは3回までとする。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 選手が女性または小学生以下の場合は7mのハンディキャップが与えられる。
- ・ 各スロー、ディスクが手から離れる前に犬がファーストラインを越えた場合はドッグファールとなり、そのスローは無効となる。

#### ⑨ レトリブクラス（ボール等で出場可）

- ・ 競技は1分×2ラウンド。
- ・ 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
- ・ 出場選手が女性または小学生以下、ならびに出場犬が小型犬の場合は得点ごとに0.5点加算のハンディキャップが与えられる。（ハンディキャップの条件が重なっても加算は0.5点とする）
- ・ 投げるものはボール・おもちゃ等、犬や人間に危険が及ぶものでなければ制限はないが、1ラウンドの中で使用できるのは一つだけとし、競技の途中で変えることはできない。
- ・ 犬がファーストラインまでディスクやボール等を持ちかえれば、ボール等を啜えた（保持した）時のスローイングエリアに一番近い脚の位置のポイントが与えられる。（ジャンプキャッチの場合はキャッチ後最初に地面に着いた脚の位置とする。）ただし得点の発生は犬の四肢全てがスローイングエリア内に戻った時となる。
- ・ 選手がスローイングエリア以外で犬やボール等に触れると得点は0（ゼロ）となる。
- ・ ディスクを使用した場合、キャッチした時の得点は0（ゼロ）となる。
- ・ コート外でボール等を啜えたり拾ったりした場合の得点は0（ゼロ）となる。
- ・ 競技中、選手以外はスローイングエリアに入ることができない。
- ・ レトリブクラスの最高ポイントは8ポイントとなる。（ディスタンス競技の10ポイントエリア→レトリブクラスの8ポイント）
- ・ トリーツ（おやつ等）の使用は不可とする。

2. 競技中のディスク交換は可能とし、交換用ディスクはあらかじめジャッジに渡しておく。この場合直前に投げたディスクと交換を行う事を条件とする。
3. スタート合図の前に投げられたスローは無効とする。
4. スタート合図と同時に投げられたスローは有効とする。
5. 終了合図と同時に投げられたスローは無効とする。
6. スタート合図の前に犬がスローイングエリアを出た場合のキャッチは無効とする。犬をファーストエリアに戻してから得点が発生する。この場合時間は止まらない。
7. ファーストラインを踏んでのスローイングは無効とする。
8. 各ポイントは上記コート表に明記してある通りとする。1回のスローでの最高得点は10得点となる。
9. フィールド外キャッチ（犬の四肢がフィールド外に出ている状態）は全て無効とする。コート外周にフェンスが設置されていて、フェンス際でジャンプキャッチした後フェンス外（フィールド外）に着地した場合も無効となる。
10. コート外周にフェンスが設置されていて、選手が投げたディスク等が犬がキャッチする前にフェンスに直接当たった場合は、ディスク等がフィールド外に出たのと同等とみなす。（フェンスに当たった後、ディスクが地面に落ちる前に犬がキャッチしても無効となる。またそのディスク等を持ち帰ってもレトリブポイントは発生しない。）
11. コート外周にフェンスが設置されていて、犬がディスク等を口で弾いて（ファンブル）フェンスに直接当たった場合についても、ディスク等がフィールド外に出たのと同等とみなす。（フェンスに当たった後、ディスクが地面に落ちる前に犬がキャッチしても無効。またそのディスク等を持ち帰ってもレトリブポイントは発生しない。）
12. 着地した犬の両手足のうち、スローイングエリアに一番近い着地点を採点基準とする。
13. ディスクが地面に着地した後に犬がキャッチしても0点となる。また、ディスクのスローイング後犬がキャッチする前に障害物や人に当たった場合も0点となる。
14. ジャンプキャッチ、フィールドキャッチともに同一得点とする。
15. 犬の脱走により競技が進行できない場合（ジャッジの判断で20秒経過）はその競技は終了とする。それまで獲得した得点は有効となる。
16. オープン、レディース、ミドル、ロングディスタンスクラスでは競技中、選手以外はスローイングエリアに入ることができない。
17. ビギナー、小型犬クラスでは家族等が補助としてスローイングエリア内に入ることができる。但し補助人が犬やディスクに触れてはいけない。
18. シニア犬、キッズクラスでは家族等が補助としてスローイングエリア内に入ることができる。補助人が犬やディスクに触れてもよい。
19. ビギナー、小型犬、シニア犬、キッズクラスではロングリードの使用を認める。
20. オープンクラスの1~3位、その他のクラスでは1位が同点となった場合には順位決定戦を行う。前記述以下の順位の同点については大会申込受付の早い方を上位とする。
21. ビギナー、小型犬、シニア犬、キッズクラスでは下記のレトリブポイントを適用する。
  - ① 犬がディスクをキャッチしなくてもディスクをスローイングエリアまで持ち帰れば1ポイント（レトリブポイント）が加算される。
  - ② ビギナー及び小型犬クラスでは7m以上のスローイングのときのみ適用する。
  - ③ シニア犬及びキッズクラスでは全ての有効スローに適用する。
22. ビギナー、小型犬、シニア犬、キッズ各クラスにおいて、競技終了合図の後にレトリブポイントが有効となるのはディスクが地面に落ちてから概ね20秒以内とする。（ディスクが落ちてから概ね20秒以上経過した後は犬がファーストラインまでディスクを持ちかえってもレトリブポイントは発生しない。）
23. レトリブクラスにおいて、競技終了合図の後にポイント獲得が有効となるのはボール等が地面に落ちて止まってから概ね20秒以内とする。（ボール等が落ちて止まってから概ね20秒以上経過した後は、犬または選手がファーストラインまでボール等を持ちかえり、かつ犬と選手両方がファー

ストラインまで戻ってもポイントは発生しない。)

24. 1 投毎に犬をスローイングエリアに戻してから次のスローを行うこと。犬の四肢がスローイングエリア内に戻っていない場合、その後に投げたスローは無効とする。

### 【フリースタイル競技】

1. エントリー枠は全 5 ペアとする。ただし同一人物で他の犬でのエントリーは原則不可とする。
2. 競技時間は 2 分で 1 ラウンド制とする。
3. 使用できるディスク枚数は最大 7 枚とする。
4. 犬種及び出場者の年齢性別は問わない。
5. 採点はマザーカップスタッフが行う。誤記・計算ミス以外の採点内容についての異議は一切受付け  
ない。
6. 採点方法は下記の 7 項目で計 40 点満点とする。  
R (5 点満点) 演技・技の組み立てや順番を評価します。  
M (5 点満点) フィールドをどのように使っているか。音楽の選択なども含めマネージメントを評価  
します。  
P (5 点満点) 完成度として技、人の動き、犬の動きを評価します。  
O (5 点満点) そのペアのオリジナル度、技のオリジナル度を採点します。  
D (5 点満点) 難易度を採点します。  
C (5 点満点) 挑戦ポイントとしてうまくいけばそれなりに、うまくいなくてもポイントがつくこ  
ともあります。  
S (10 点満点) ショーマンシップです。一番ここを重点的に見ます。ショーとしての採点です。

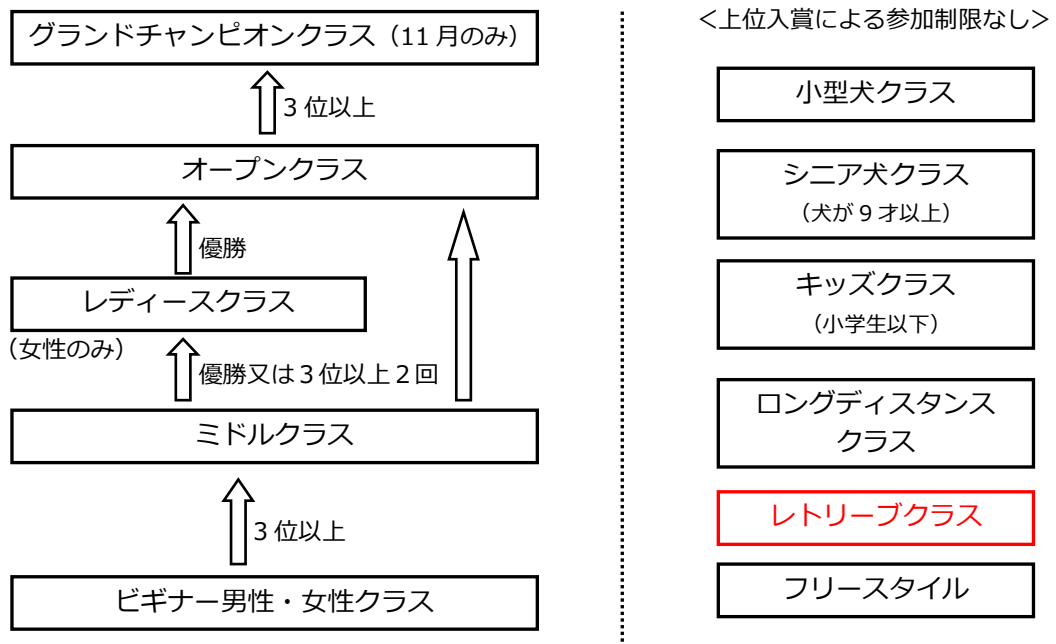
### 【表彰について】

各クラスの表彰については下記表の通り。上位入賞ペアにはトロフィー等が授与される。

	上位入賞	入賞	飛び賞	ブービー賞
グランドチャンピオン	1~3 位	4~14 位 (参加数による変更あり)	-	-
オープン	1~3 位	4~10 位 (参加数による変更あり)	15・20・25…位 (参加数による変更あり)	-
レディース	1~3 位	4・5 位	-	-
ミドル	1~3 位	4~10 位 (参加数による変更あり)	15・20…位 (参加数による変更あり)	-
ビギナー男性・女性	1~3 位	4~10 位 (参加数による変更あり)	15…位 (参加数による変更あり)	あり
小型犬	1~3 位	4~10 位 (参加数による変更あり)	15…位 (参加数による変更あり)	-
シニア犬	1・2 位	-	-	-
キッズ	1~3 位	-	-	-
レトリーブ	1~3 位	4~10 位 (参加数による変更あり)	15・20…位 (参加数による変更あり)	-
ロング・フリー	1 位	-	-	-

### 【上位入賞ペアの次回参加クラスについて】

1. ビギナー男女クラスで上位入賞（1～3位）したペアは、次回以降ミドルクラス以上のクラスへ出場する。
2. ミドルクラスで優勝および上位入賞（2・3位）を2回したペアはレディースまたはオープンクラスへ出場する。
3. レディースクラスの優勝ペアは次回以降オープンクラスへ出場する。
4. オープンクラスでの優勝ペアは次回以降もオープンクラスに出場する。
5. 小型犬、シニア犬、キッズ、ロングディスタンス・レトリブクラスおよびフリースタイルについては上記規定の対象外とする。
6. 選手の年齢が満70歳以上の場合、上位入賞回数による参加クラスの制限は適用しない。



### 【グランドチャンピオンクラスについて】

1. オープンクラスで上位入賞（1～3位）したペアは、その年度の最終大会（11月予定）に行われるグランドチャンピオンクラスに出場することができます。
2. 競技詳細及びエントリー方法については11月上旬ごろ有資格者へ連絡いたします。グランドチャンピオンクラスに限り、参加費の事前振込をもってエントリー確定となります。
3. 同日に開催されるオープンクラス上位入賞ペアはグランドチャンピオンクラスに出場できません。
4. マザーカップのオープンクラスにおいてグランドチャンピオンクラスの有資格ペアで重複が出た場合は、該当ペアのその年度における入賞が2回目以降となる大会において4位以下のペアが繰り上がって出場資格を得る事とします。

## 【開催クラスについて】

2016 年度春季大会の募集クラスは下記の通りとする。

	4月	5月	6月
グランドチャンピオンクラス (11月のみ)	-	-	-
オープンクラス	○	○	○
レディースクラス	○	○	○
ミドル	○	○	○
ビギナー男性および女性クラス	○	○	○
小型犬クラス	○	○	○
シニア犬クラス	○	○	○
キッズクラス	○	○	○
レトリブクラス	○	○	○
フリースタイル	-	○	○

※各月の募集クラスについては変更となる可能性があります。

## 【大会マナー等】

1. 競技中の糞尿行為については前述の【全クラス共通ルール】10 項および 11 項で規定されている通りですが、それ以外でもフェンスやパイロン等の大会運営備品や、会場の設備に愛犬がマーキングしないように注意するのは犬の飼い主としての最低限のマナーです。競技中以外でもフェンス等へのマーキング行為があった場合にはジャッジの判断で失格となる場合もあります。愛犬の排泄のコントロールを心がけて下さい。
2. 愛犬の飲み水はご自分でご用意ください。
3. ゴミやフンは必ずお持ち帰りください。
4. 競技以外の時間は、犬に必ずリードをお付けください。
5. 牧場内のお客様に迷惑を掛けないよう心がけてください。
6. 競技中のトリーツ（おやつ等）は出来るだけ使用しない事が望ましいですが、やむを得ず使用する場合には、トリーツを落とすなどして他のペアの競技に迷惑がかからない様、十分気をつけて下さい。万が一落としてしまった場合は選手が責任を持って全て拾って持ち帰って下さい（※オープンおよび**レトリブ**クラスでのトリーツの使用は禁止とします）。また競技後、スローイングエリア付近で愛犬にトリーツ等を与える事は禁止とします。主催者およびジャッジが競技の進行の妨げになると判断した場合、失格となる事もありますので十分注意して下さい。
7. その他運営スタッフの指示に従っていただけない場合には、大会の出場や会場へのご入場をご遠慮いただくことがございます。
8. 当ルールは、全ての参加者ができるだけ公平に競技を楽しんでいただけるよう定められております。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016 年 2 月